

町内所管事務調査

総務産業常任委員会

10月12日～13日



(動画時間) 126分
1:54:01
委員長報告

10月12日から13日までの2日間の日程で町内所管事務調査を行いました。

この議会日よりでは、12月定例会議で結果報告した内容を一部抜粋してお知らせします。

◆浄水場及び送水管建設現場

現在2か年で実施している建設工事は、今年度が最終年度となる。

鉄筋コンクリート造り、一部3階建てで採用する浄水方式は、最新式の「セラミック膜ろ過方式」である。

送水管は、直径200ミリのダクタイル鋳鉄管を道道下川雄武線沿いに埋設するものである。

【所見】完成は、令和6年2月を予定している。

町民へ安全で安心な水道水を安定して供給するために、今後も安全に留意しながら遅滞なく工事を進めて行く必要がある。

◆戸田建設(株)の状況

戸田建設(株)と下川町は、企業と地域の連携による包括連携協定を締結している。一の橋地区で太陽光システムなどの再生可能エネルギーを利用して夏秋イチゴのハウス栽培を行っている。今後は、既存のバイオマス熱供給システムによる熱利用を予定している。

【所見】雇用人数の増加やふるさと納税返戻品としての効果が期待できるほか将来的には、山びこ学園等の障がい者雇用など様々な効果が見込まれる。協定に基づく取り組みが有効に機能するよう相互の連携をより強固なものとしていく必要がある。

◆一の橋取水施設

一の橋取水施設は、一の橋浄水場まで3,082メートルの導水管で沢の水を送っている。昭和48年の建設から50年が経



一の橋取水施設

過しており、施設の老朽化が著しい状況である。

【所見】8月の大雨では、取水施設や取水施設までの管理用道路が数か所寸断されるなどの大規模な被害にあっている。

水道水の安定供給に向けた、水道施設整備計画の早急な策定が必要である。

◆認定こども園運営状況

下川町認定こども園は、定員95名の保育施設で、0歳から6歳までの幼児をクラスに分けて保育している。

一時保育の受け入れも行っており、保護者の傷病や冠婚葬祭などの際に利用が可能である。

【所見】保育士の業務は、事務作業を含めて増加傾向である。事務作業の簡素化などの工夫をし、保育士が保育業務に専念できる環境づくりが必要である。

【総合所見】議会や委員会などで指摘した事項、意見などについては速やかに検討・対応するよう努めるべきである。



認定こども園「こどものもり」